



泉丘SSHだより



第5号 H19.8.31
編集: SSH推進室
発行: 鈴森庸雄

石川県立金沢泉丘高等学校



全国高校化学グランプリ2007 金賞・銀賞受賞

一次選考(7月16日、金沢大学)を通過し二次選考に進んだ理数科3年芦田裕也君が金賞と西川哲生君が銀賞を受賞しました。

一次選考は全国から2000名を超える高校生が参加しました。その中から57名が二次選考に進み、8月18日・19日に東京工業大学で合宿形式の実技試験が行われました。

二次選考に向け、室内温度が35度を越すような化学実験室で実技指導を受け、実験練習を繰り返した二人は実力を発揮し、金賞・銀賞を受賞することができました。表彰式は9月29日に東京で行われます。

夏休みの行事報告

《白山野外実習》7月27日～28日

昨年度は大雨の影響で中止となってしまいましたが、今年は雨の影響もなく予定どおり実施することができました。2年生の希望者25名と1年生38名、金沢大学大学院生のTA9名、そして引率教員8名の大所帯となりました。

1日目は天候に恵まれ、植物観察や地層観察など事前に課された課題を調べながら南竜ガ馬場に向かって登山研修を行いました。夜に行った星空観測も天候に恵まれた、「月さえなければ絶好の観察日和」となり、真剣な眼差しで観察を行っていました。夜の星空観測だけでは物足りなかった生徒たちは、夜中の2時ごろから再び星空観測を行い、流星を何度も観察することができたと感動していました。

2日目はあいにくの天気となってしまいましたが、全員が山頂目指してがんばりました。天気は悪くても山頂に着いたときの喜びはひとしおでした。

今年はテレビ金沢の取材スタッフも同行し、研修の様子などが『ラララ白山』や『ビービーみつばち』などで放送されました。



《韓国サイエンスフェスティバル2007研修》 8月10日～13日

テロの影響により急遽、英国研修から韓国サイエンスフェスティバルへと変更となりましたが、気持ちを切り替え、発表準備を進めました。今年は、『黒い炎』と折り紙の『手裏剣』について発表を行いました。熱心に質問してくる来訪者に戸惑いながらも、堂々と対応する姿がとても頼もしく見えました。また、発表するだけでなく、他国のブースに出向き積極的に英語で質問しレポートにまとめていました。



《全国SSH生徒研究発表会》 8月1日～3日

全国99校のSSH指定校の生徒たちが集い、口頭発表やポスター発表を行いました。本校からは、AIプロジェクト「触媒の化学」研究班の4名がポスターセッションを行ってきました。全国から集まってきたSSH校の生徒たちと交流を深めていました。



《その他》

☆英国科学実験講座 クリスマスレクチャー2007 数のミステリー



8月1日～2日に金沢工業大学で開催された講座に、理数科の希望者15名が参加しました。全て英語の講義と聞かされていたので、生徒たちは理解できるか不安そうでしたが、実際には日本語の通訳がついたおかげでしっかりと聞くことができました。レクチャー後、本校生徒たちは、講師の先生と別室で懇談会を行い、積極的に質問をしていました。

☆応用物理学会



8月3日～4日に行われた「応用物理」創刊75周年記念事業に、一般の物理学の専門家の方たちに混じって、AIプロジェクト「音の物理学」研究班がポスターセッションを行ってきました。物理学の専門家の集まりの中で、自分たちの研究を説明し、いろいろな指摘を受けたりアドバイスをもらったりすることができ、得るものの多い発表でした。

☆金沢大学 理学の広場 ～夏休み高校生のための理学体験セミナー～

8月9日～10日に金沢大学角間キャンパスで開催された「夏休み高校生のための理学体験セミナー」へ参加してきました。物理・化学・生物・地学・数学に分かれ、高校の授業では体験できない高度な講義を受けてきました。

☆第1回SSH石川県運営指導委員会

8月27日に本校大会議室において開催されました。今年新しく始まった『サイエンスイングリッシュ』の進め方などについてアドバイスをいただきました。

《あとかき》

今年の夏も終わりました(ˊˋ)。英国研修が実施できなかったのは心残りですが、その他の行事では得るものの多い夏だったのではないのでしょうか。特に化学グランプリで2人の生徒が受賞したという知らせは喜ばしいものでした。また、総勢80名で行った野外実習では学年を超えた交流ができた半面、大所帯での登山ということで残した課題もあったようです。今年の反省を今後のSSH活動に活かしていければと思います。